中津川市
博物館
だより

恵那山

2024
Vol.25, No. 4

『江戸風俗年中行事』

明治23（1890）年
（中山道歴史資料館蔵）

十日市（正月10日）のもととなった江戸時代の年中行事「えびす講」のようす

鉱物博物館

第43回私の展示室　はじめのいっぽ・にほ・散歩

3月1日（土）から

乳幼児の親子向けに鉱物博物館で開催している教室「はじめのいっぽ～森の子育て・親子自然楽習～」のこれまでの活動を、教室スタッフが紹介します。夜明けの森を拠点に、わらべうた・ネイチャーゲーム・クラフト・絵本などでゆったりと遊びながら、森の「いいな」を満喫した記録です。

- 会　期／3月1日（土）～3月30日（日）
- 会　場／鉱物博物館 企画展示室
- 関連の催し
  ワークショップ「親子でひなたぼっこの会」
  日　時／3月15日（土）9：30～16：30（随時）
  ＊内容など詳しくは6ページをご参照ください。
- 休館日／毎週月曜日（詳しくは8ページをご参照ください）

（大林）

苗木遠山史料館

秋冬の企画展　苗木領の村絵図

1月26日（日）まで

村の庄屋が村内の道や川、神社や家の位置、また田や畑、山林の様子を書き入れ、明治初期、苗木藩庁（県庁）に差し出した絵図など、当時の様子を知る上で貴重な資料を展示・紹介します。

- 会　期／令和6年10月12日（土）～令和7年1月26日（日）
- 会　場／苗木遠山史料館 特別展示室〈2F〉

江戸時代料理復元シリーズ27
苗木城下町料亭『恵奈屋』接待料理（仮）

3月8日（土）から

天保8（1837）年3月9日、11代遠山友寿（ともひさ）公の病気診断のために、尾張の医師林良益を呼び寄せました。その慰労のため城下町の料亭「恵奈屋」で接待をした時の料理記録、「遠山家文書 尾州林良益召呼之献立」を復元します。

この料亭「恵奈屋」の主人恵奈屋嘉平次は、当時近在に知られた名料理人であったといわれています。

復元料理

- 会　期／3月8日（土）～3月16日（日）
- 会　場／苗木遠山史料館 特別展示室
- 展示説明会／3月8日（土）13：30～15：00

特別展示　郷土の名工 成瀬誠志 陽明門と鬼瓦

3月30日（日）まで

中津川市茄子川出身の名工・成瀬誠志の陶製「陽明門」と鬼瓦を展示します。

- 会　期／令和6年4月2日（火）～令和7年3月30日（日）
- 会　場／苗木遠山史料館 2階展示スペース

- 休館日／毎週月曜日（詳しくは8ページをご参照ください）

（浅井）

中山道歴史資料館

企画展　古代坂本郷の大屋根と大動脈 ～森林・河川・道の軌跡～

3月30日（日）まで

今回の企画展では、明治９（1876）年当時の「中津川村分間絵図」を紹介しています。絵図の大部分は森林地帯を示す薄緑色で描かれていますが、中津川市史によれば、明治13年頃の村の戸数は691戸、人口は2,932人、主な職業別人口は、農業1,684、商業62、などとなっていました。当時の中津川は、少し前の江戸時代と比べて商業に携わる人々の割合が多かったようです。

当時の人々の暮らしを知るうえで貴重な資料を展示・紹介しています。

明治9(1876)年 中津川村分間絵図
（個人蔵）

- 会　期／令和６年10月１日（火）～令和７年３月30日（日）
- 会　場／中山道歴史資料館 第２展示室
- 休館日／毎週月曜日（詳しくは８ページをご参照ください）
- 入館無料日／１月10日（金）・２月２日（日）・３月２日（日）

（伊藤）

東山魁夷心の旅路館

第Ⅳ期展　清澄―水辺の四季

１月６日（月）から

透き通った水面に緑の木立が影を落として静まりかえる自然の佇（たたず）まいに心の安寧を感じた魁夷は、四季折々の水辺の風景を描きました。画家の澄み切った心をそのまま映すかのような、安らぎに満ちた水辺の景色をご堪能ください。

- 会　期／１月６日（月）～３月16日（日）
- 会　場／東山魁夷心の旅路館
- 休館日／毎週水曜日（詳しくは８ページをご参照ください）

霧立つ山湖（リトグラフ）

夕涼（習作）（リトグラフ）

たにま（カラーコロタイプ）

（入曽）

熊谷榧（かや）つけちギャラリー

第Ⅲ期展　可知凛花（りんか）展 ～その一瞬を見つめて～

１月10日（金）から

中津川市在住の書家であり水墨画家の可知凛花さんの展覧会を開催します。可知さんは、作品を制作するにあたり、次のように語っています。「わたしは日々の生活を送る中で“今のこの気持ちを残したい”と思う瞬間があり、作品におこします。それは、景色を見た時の感動や、嬉しい出来事があったとき、時には悩んで葛藤したりと…。自分が生きてきた出来事を記録に残していくような感覚です。その中の一瞬さえも愛おしく、大切に残したい、そんな思いで筆を握っています。」

色彩と墨の濃淡で表現された作品には、可知さんの優しくて暖かい人柄が映し出されているかのようです。

雪恋（水墨画）

- 会　期／１月10日（金）～４月13日（日）
- 会　場／熊谷榧つけちギャラリー
- ギャラリートーク／３月23日（日）13：30～
- 開館日／金・土・日および国民の祝休日
- 入館無料日／１月12日（日）・４月６日（日）

（上田）

参加する　－ 催し・教室のお知らせ －

○各教室・講座の申込方法など詳細は、各館のご案内をご参照ください。
○各館の連絡先は８ページをご参照ください。

凡例　作る　学ぶ　体験

最新情報は各館にお問い合わせください。
中津川市の博物館WEBサイトでもお知らせします。
※右の二次元コードを読みとると、中津川市の博物館WEBサイトが表示できます。

中津川市の博物館WEBサイト

苗木遠山史料館

古文書教室　史料館文書を読む

遠山家古文書を解読しながら、みんなで学びます。
■担当：調査員 加藤宣義

開催日	第10回 1/25（土） 第11回 2/22（土） 第12回 3/22（土） 毎月第四土曜日		
時　間	13：30～15：00	対　象	一般
定　員	20名	費　用	年間1,000円
申　込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具、くずし字用例辞典（貸出あり）		

史料館調査報告
荒城の月をめぐって 苗木藩とのゆかり

「荒城の月」は、過ぎ去った旧時代を偲（しの）んで明治時代に作られた名曲です。この曲をひも解きながら、苗木藩と遠山家の興亡に想いを馳せます。
■講師：調査員 千早保之

開催日	3/21（金）		
時　間	13：30～15：00	対　象	一般
定　員	20名	費　用	資料代 250円
申　込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

中山道歴史資料館

文学講座　島崎藤村の『夜明け前』を味わう Ⅱ

木曽の文豪・島崎藤村の『夜明け前』を朗読しながら、わかりやすく解説していきます。
■講師：館長 西村友孝

開催日	第19回 1/15（水） 第20回 2/5（水） 第21回 2/19（水） 第22回 3/5（水） 第23回 3/19（水） 毎月第一・第三水曜日		
時　間	13：30～15：00	対　象	一般
定　員	14名	費　用	１回 250円
申　込	開催日の１週間前まで随時受付、先着順		
その他	持物：『夜明け前』第２部		

歴史講座　明治の時代をひもとく

明治時代の歴史をわかりやすく読み解きます。
■講師：仁科吉介

開催日	第19回 1/8（水） 第20回 1/22（水） 第21回 2/12（水） 第22回 2/26（水） 第23回 3/12（水） 第24回 3/26（水） 毎月第二・第四水曜日		
時　間	13：30～14：30	対　象	一般
定　員	14名	費　用	１回 250円
時　間	開催日の１週間前まで随時受付、先着順		

子ども科学館

ペットボトルと光ファイバーで幻想的なアート作品をつくろう

ペットボトルと光ファイバーを使って幻想的なアート作品をつくります。

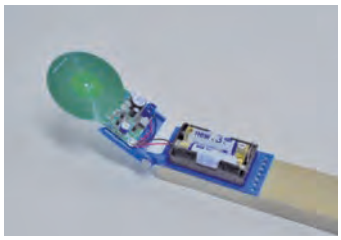
開催日	時　間	対象	定員	費用	講　師	申込
1/25（土）	9：30～11：30	小学生以上	12名	650円	職　員	締切 1/17

ペットボトルと光ファイバーで
幻想的なアート作品をつくろう

金属探知機をつくろう

磁界の変化を検知して、金属を見つける探知機をつくります。
かくれたお宝を探してみよう。

開催日	時　間	対象	定員	費用	講　師	申込
2/15（土）	9：30～11：30	小学生以上	12名	500円	職　員	締切 2/7


金属探知機をつくろう

おもしろ科学実験～実験と工作～

「なぞの光をみよう」「化石をつくろう」など、おもしろい実験と工作をします。

開催日	時　間	対象	定員	費用	講　師	申込
3/15（土）	9：30～11：30	小学生以上	7名	300円	桃井制次さん 他	締切 3/7

- 定員を超えた場合は抽選です。
- 抽選に当たった方には電話で連絡します。（不在の場合は、次の方が当選になることもあります。）
- 小学校3年生以下の参加には、大人の付き添いをお願いします。
- 費用は変更になる場合があります。

鉱物博物館

古代人のアクセサリー「まが玉」をつくろう

滑石というやわらかい石で「まが玉」をつくります。まが玉についてのミニ学習もあります。

開催日	時　間	対　象	定員	費用	講　師	申込	そ　の　他
2/9（日）	10：00～12：00	小学生以上	18名	500円	職　員 友の会	1/11～1/24 抽選	小3以下は保護者同伴で 持物：古タオル・エプロン

金属の手鏡づくり

溶かした金属を固めて磨き、むかしの人が使ったような金属製の鏡をつくります。

開催日	時　間	対　象	定員	費用	講　師	申込	そ　の　他
2/23 （日・祝）	9：30～12：00	小4以上	6名	600円	職　員	1/24～2/7 抽選	小3以下は保護者同伴で

親子でひなたぼっこの会

森あそびのヒントがいっぱい。絵本やネイチャーゲームを楽しみながら親子でゆっくり、のんびりしませんか。

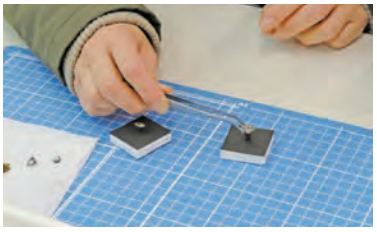
開催日	時　間	対　象	定員	費用	講　師	申込	そ　の　他
3/15（土）	9：30～16：30 （随時）	親子	なし	無料	原　令子さん 柳谷恵子さん 小林英子さん 大嶋直子さん 三浦美奈子さん	当日受付	

ちっちゃな鉱物を標本にしよう

小さな鉱物でも立派な標本になります。
鉱物について学びながら、マイクロマウントとよばれる鉱物標本をつくりましょう。

開催日	時　間	対　象	定員	費用	講　師	申込	そ　の　他
3/23（日）	10：00～12：00	小4以上	12名	400円	職　員	2/21～3/7 抽選	小3以下は保護者同伴で

金属の手鏡づくり


ちっちゃな鉱物を標本にしよう

鉱物博物館

上八洞石―日本人が発見した希産鉱物

上八洞石（Johachidolite）は、1942年に朝鮮半島北部の咸鏡北道吉州郡長白面上八洞で、日本人によって発見・記載されました。鉱物名はこの発見地に由来します。上八洞はハングルでは상팔동で、サンパルトンと発音しますが、当時は日本の統治下だったため、日本の音読みジョウハチドウからJohachidoliteとなりました。

戦時中の発見で、その後発見地が北朝鮮領内となったことや、他の産地が知られていなかったことなどから、「幻の鉱物」でしたが、2000年代以降、ミャンマー・モゴク（Mogok）地区からの産出が知られるようになりました。「幻」ではなくなりましたが、産地も産出量も限られていて、現在も「レア」な鉱物です。

Mogokは、ルビー・サファイア・スピネルなどの宝石産地として知られたところです。上八洞石も宝石質のものが産出しています。上八洞石は硬度が7.5で、石英より硬いので、透明度の高い大粒の結晶は宝石になりうるのです。

鉱物博物館には、Mogok産の宝石鉱物として、サファイア（コランダム）の標本も収蔵されています。

上八洞石の化学組成は$CaAlB_3O_7$で、ホウ素（B）を主成分とするホウ酸塩鉱物です。ホウ酸塩鉱物には、上八洞石より少し前に同じく北朝鮮で発見された小藤石（Kotoite, 小藤文次郎にちなむ）や、神保石（Jimboite, 神保小虎にちなむ）、逸見石（Henmilite, 逸見吉之助・逸見千代子にちなむ）など、なぜか日本人ゆかりの鉱物がたくさんあります。

上八洞石
ミャンマー Pein Pyit, Mogok, Mandalay, Myanmar
標本左右約1.7cm　[EB24030003]
橙黄色部が上八洞石

（大林）

東山魁夷心の旅路館

「郷愁」

両岸の草なびく堤の上は細い道になっており、緩やかに蛇行する川に沿って、遥か遠くへと続いているかのようです。川が遠くの方で消える辺りには、小さな橋が架かっていて、田園の向こうには、なだらかな山なみが広がっています。東山魁夷は、茅野から諏訪へ向かって歩いてゆく途中で、ふと通りがかりに見たこの風景に心惹ひかれ、思わずスケッチを残しました。

本制作では、写実的で細かな描写を、青色を基調とした岩彩で塗り込み、淡い空の輝きや遠景へと向かう緑から青の濃淡、ほの白く見せる川の流れの表現によって、夕暮れの静けさを伝えています。

魁夷は、全国を旅して各地の名所や景勝地ではなく、山や湖など普段見なれた景色を捉えて、静かで心癒される自然の風景を数多く描きました。

横浜の海岸通りで生まれ、少年時代を神戸で過ごした魁夷にとって、「郷愁」のような清らかな水の流れる青い山の風景は、本来の故郷のイメージではないはずです。しかし、故郷を離れ様々な場所を旅する中で、幼少の記憶に残る海辺の風景とは別に、小学校のときに歌った「山は青きふるさと、水は清きふるさと」のようなきれいな水の流れる青い山の風景こそが、日本人の心の奥底に存在している風景であり、より象徴的で根源的な日本の原風景であると考えるようになりました。

この「郷愁」について魁夷は、「その情景が根深く、静かな映像となって息づいているのを感じる。私の心を誘うように、深い所から呼んでいるものがある。」と語っているように、信濃で出会った一風景に、日本人の心の故郷を想わせる哀愁と懐かしさを感じたのではないでしょうか。

郷愁（岩絵具方式特殊印刷）
（原画：1948年 絹本彩色 110.2×179.0㎝ 第４回日展出品）

（入曽）

苗木遠山史料館

「高森書庫」と「遠山書庫」

苗木遠山史料館には、旧藩主遠山家の蔵書が多数あります。「匏斉」（11代遠山友寿）や「混々斉」（12代遠山友禄）の蔵書印が捺されているものもありますが、それとは別に「高森書庫」・「遠山書庫」と朱色の角印（蔵書印）が捺されているものがあります。

高森書庫

「高森書庫」と捺された本は歴史の概説書が多く、「日本王代」（1652年全7巻）や「将軍譜」（1658年7冊）、「日本書紀」（1669年7冊）等、江戸時代前期の出版のものもありますが、多くは江戸時代後半に出版されたものです。「校刻日本外史」（22冊）や「皇朝史略」（1826年10冊）、「国史纂論」（1846年10冊）等の他、一般には耳慣れない「逸史」（1779年13冊）や「百練抄」（1803年14冊）等、歴史の概説書と思われるものが多いです。

遠山文書の蔵書の多くは、藩主の真摯な歴史研究を補助する版本でした。漢詩に関心が深かった友禄らしい一部の書物にも「高森書庫」蔵書印が見られます。

遠山書庫

「高森書庫」と比較すると、蔵書印「遠山書庫」はさほど多くはありません。「日本政記」（1861年16冊）、「南木誌」（1864年5冊）、「近世史略」（1872年3冊）、「続国史略」（1873年5冊）、「続国史略　後編」（1874年5冊）、「国史攬要」（1874年16冊）と、やはり歴史の概説書といえるものになりますが、出版が幕末から維新のものが多くなっています。

幕末・維新期の藩主・遠山友禄は藩政改革に多忙で、概論書の蒐集に掛かるゆとりはありませんでした。明治2（1869）年の版籍奉還、4年の廃藩置県で、大名から知事となり、放免となった後は、華族として東京で余生を過ごす事になりました。明治4年以降は、東京で個人として蔵書印「遠山書庫」を使用したのではないでしょうか。

高森書庫

遠山書庫

（千早）

中山道歴史資料館

「改正滝車時間表」と「回遊團体募集廣告」

鉄の道《中央鐵道・中山道線》をどこに通すのか、明治政府で議論される中、中山道説を唱えたのは山縣有朋公でした。木曽谷の木曽川・中山道とほぼ並行して列車を通すというコースは、彼の提言によるところが大きく、中津駅は、明治35（1902）年12月16日に開業しました。写真①は名古屋の印刷業者で発行された「改正滝車時間表」です。この時、既に東海道線にも接続されており、大阪・東京新橋への直行列車がありました。

① 改正滝車時間表

当時の中津町旅館料理店組合有志による団体旅行の募集広告「伊勢金毛羅回遊團体募集廣告」では、現在では聞きなれない「滝車：二等最新式大型貫通車」での旅として募集がされています。これはどんな客車だったのでしょうか。

開業当時、中央線を走っていた機関車は米国・英国製の輸入品で、通称B６と呼ばれる小型のタンク式でした。引いている客車のほとんどが「マッチ箱」と呼ばれる背の低い小さな車両で、横幅方向に長椅子を前後に配置した横移動しかできないスタイルで、乗り降りは座席分だけ側面に取り付けられた専用ドアからでした。現在のような中央の通路はなく、出発時は車掌が外から鍵を閉めていました。その後改良され、大型で中央通路のある客車が導入されました。遠くの観光地まで快適に旅ができる客車、それを「最新式大型貫通車」と命名したのでした。

② 伊勢金毘羅回遊團体募集廣告

下の写真は開業当時、木曽川と木曽谷をぬうように、野尻と三留野の間の羅天辺りを松本方面に向けて走るB６機関車と客車の姿です。

B６機関車

（伊藤）

文化の日入館無料デーを開催しました

中津川市の博物館６館（苗木遠山史料館、中山道歴史資料館、鉱物博物館、子ども科学館、東山魁夷心の旅路館、熊谷榧つけちギャラリー）では、11月３日（文化の日）に館内を無料開放し、各館で催しを開催しました。

苗木遠山史料館では「クイズラリー」や「箏（こと）演奏」、中山道歴史資料館では「蓄音機懐かしの音色鑑賞会」や「歴史クイズラリー」、鉱物博物館では「ストーンハンティング（水晶さがし）」や「石割体験」などを行いました。

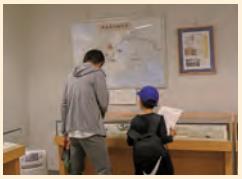
子ども科学館では、午前中にミニ科学工作まつりを開催し、工作や体験のコーナーを楽しんでいただきました。お子さん全員に、職員手作りのおみやげもプレゼントしました。

東山魁夷心の旅路館では、先着30名にポスターをプレゼントしました。

絶好のお出かけ日和となった秋晴れの中、たくさんの方にご来館いただきました。

箏演奏
（苗木遠山史料館）

第Ⅲ期展
（東山魁夷心の旅路館）


歴史クイズラリー
（中山道歴史資料館）

ミニプラネタリウム上映
（子ども科学館）

ストーンハンティング
（鉱物博物館）

第13回熊谷守一大賞展が開催されました

「自然へのまなざし」をテーマに、第13回熊谷守一大賞展が開催されました。

全国から184作品の応募があり、厳正な審査の結果、大賞1点、優秀賞2点、奨励賞5点を含む入選作品58点が選ばれました。

大賞「還（かえ）らないものたちへ」
玉置潤子（愛知県）F50号

寄贈を受けました

2024年９月～11月受贈分

中山道歴史資料館
京都歴史研究会 様　書籍２点
ありがとうございました。

休館日

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

熊谷榧つけちギャラリーは金･土･日および国民の祝休日のみ開館
□東山魁夷心の旅路館休館日　■その他4館の休館日
＊年末年始休館日のお知らせ　12月26日（木）から１月５日（日）まで全館休館

中津川市博物館

夜明けの森きらめきパーク
中津川市鉱物博物館
〒508-0101　中津川市苗木639番地の15
JR中津川駅からバス「夜明けの森」下車徒歩約40分
FAX　0573-67-2191
☎ 0573-67-2110　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/m/

わくわくドーム
中津川市子ども科学館
〒508-0011　中津川市駒場1657番地の1
JR中津川駅から徒歩約20分
FAX　0573-66-9171
☎ 0573-66-9090　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/s/

苗木城跡歴史の広場
中津川市苗木遠山史料館
〒508-0101　中津川市苗木2897番地の2
JR中津川駅からバス「苗木」下車徒歩約20分
FAX　0573-66-9290
☎ 0573-66-8181　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/

中津川宿を中心とした歴史の旅
中津川市中山道歴史資料館
〒508-0041　中津川市本町２丁目２番21号
JR中津川駅から徒歩約10分
FAX　0573-66-7021
☎ 0573-66-6888　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/n/

木曽谷に抱かれた美術館
中津川市東山魁夷心の旅路館
〒508-0501　中津川市山口１番地15
中央自動車道「中津川IC」から車で約25分「道の駅賤母（しずも）内」
FAX　0573-75-5225
☎ 0573-75-5222　https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/k/

山と青川（かわ）の小さな美術館
熊谷榧つけちギャラリー
〒508-0351　中津川市付知町4956番地の52
（アートピア付知交芸プラザ内）
中央自動車道「中津川IC」から車で約40分
☎ 0573-82-4911　http://www.kaya-kumagai.jp

中津川市博物館だより　恵那山
Vol.25, No. 4　2025年１月発行
編集　中津川市鉱物博物館
〒508-0101　岐阜県中津川市苗木639-15
TEL：0573-67-2110 / FAX：0573-67-2191